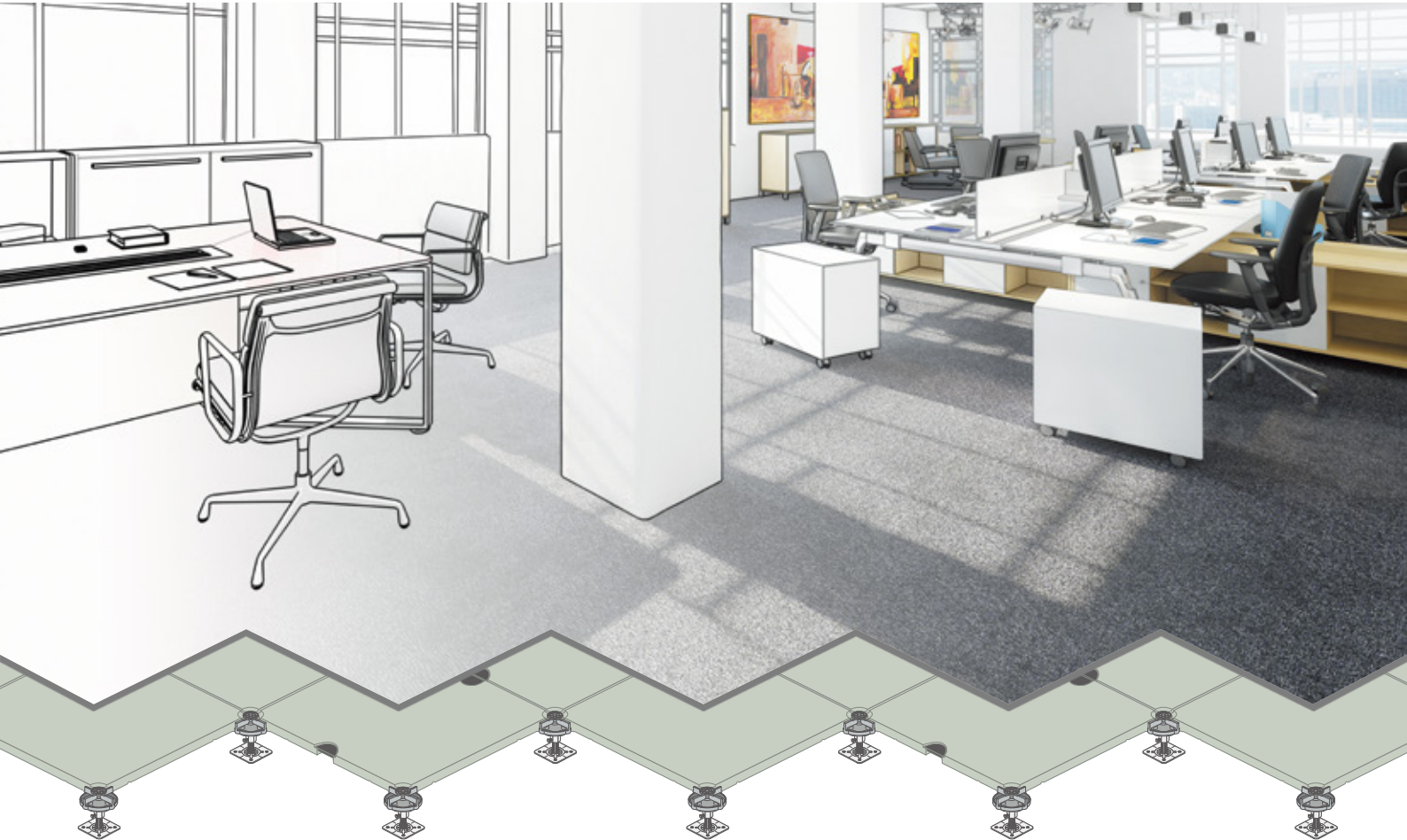


## ニチアス パットフロア<sup>®</sup> M300A





# 歩行感に優れ、 快適なオフィス環境を実現する 「ニチアス パットフロア<sup>®</sup> M300A」。

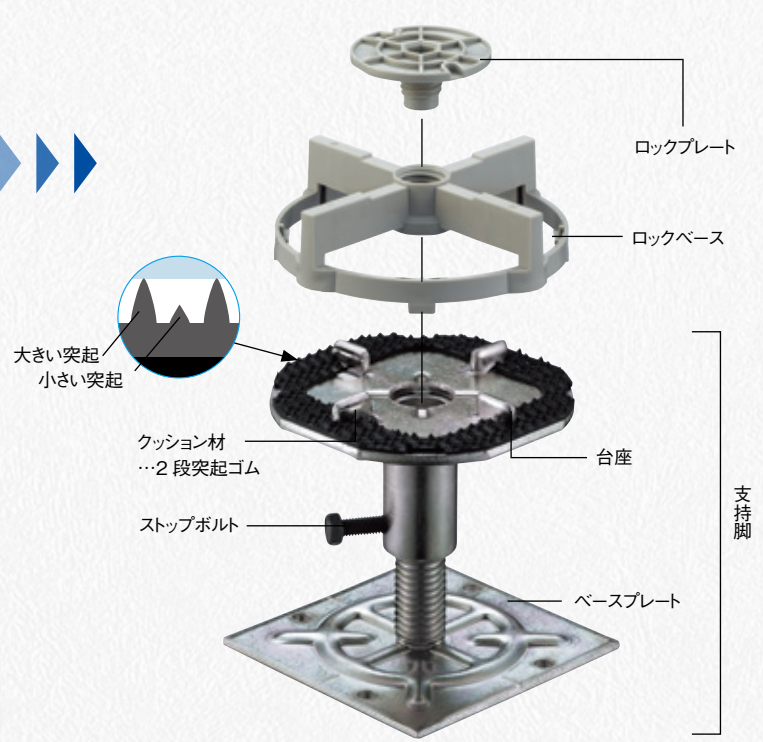
## 1. GRC(ガラス繊維補強セメント)を 鋼板で補強した高強度パネル

コンクリートだけでは割れやすい性質を、GRCと特殊加工鋼板を組み合わせる事で、丈夫で高強度のコンクリートパネルを実現。床スラブと同等の安定した歩行感が得られます。

## 2. ガタツキ音のない 優れた歩行感

フリーアクセスフロアの欠点であるガタツキ音を低減し、きしみや空洞音を軽減する2段突起ゴムを採用。オフィスワーカーの足への負担を抑え、自然でやさしい歩行感が得られるのが特長です。





### 3. コストパフォーマンスを誇る フリーアクセスフロア

優れた諸性能を低コストで実現。経済性を考えたオフィス環境づくりに貢献しています。

パネル

基材はGRCを特殊加工鋼板で補強。ご要望に応じて「0タイプ」と、配線用切り欠きのある「PKタイプ」で組み合わせることができます。



パネル仕様

種類	タイプ	許容集中荷重	サイズ (mm)	パネル厚さ (mm)	システム重量 (kg/m <sup>2</sup> ) 注1
M 300 A	0	3,000N	(仕上がり500mmモジュール) 498×498	21	約49
	PK				

注1：支柱の高さ100mmの場合。システム重量は表面材を含みません。  
注2：表面に色ムラ、小さな気泡などが発生する場合がありますが、製品性能上は問題ありません。

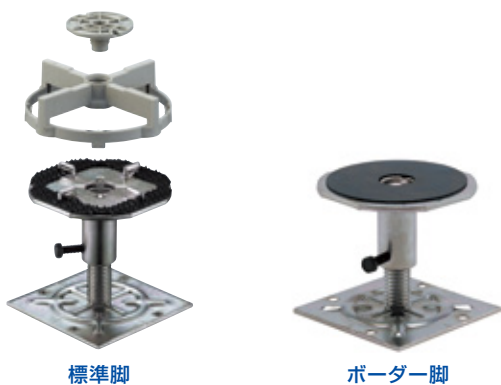
支持脚

仕上がり高さ60～1,000mmまで充実のラインアップ。

※仕上がり高さ300～1,000mmは、受注生産品です。仕様、詳細については別途お問い合わせください。



【支持脚の種類】



支持脚の種類 仕上がり高さ	標準脚	ボーダー脚
60mm用	PD-60(T)脚	E-60脚
80mm用	PD-80(T)脚	E-80脚
100mm用	PDL-100(T)脚	EL-100脚
125mm用	PDL-125(T)脚	EL-120脚
150mm用	PDL-150(T)脚	E-150脚
200mm用	PD-200(T)脚	E-200脚
300mm用	150角プレスフロア脚	100角フロア脚

※ウイスカ対策品も用意しております。  
仕様・詳細につきましては別途お問い合わせください。



フサギ板

PKタイプの切り欠き部分に取り付けます。



LANケーブル



LANケーブル + タップ式コンセント

※太いケーブルの場合、爪をペンチなどで内側に折曲げて使用してください。

情報コンセント専用加工パネル

情報コンセントを設置する場合

専用加工パネル(オプション)に情報コンセントを取り付けます。

※切り欠き部分には、補強脚が必要となります。



※受注生産品です。  
仕様、詳細につきましては別途お問い合わせください。

専用アップコンセント



メーカー名：(株) 寺田電機製作所 (NAS70000)

セキュリティシステム

特殊ネジによってパネルをロックするシステムです。通常のドライバー、六角レンチでは開閉できないため、セキュリティ性が高まります。



※受注生産品です。  
仕様、詳細につきましては別途お問い合わせください。

スロープ・カマチ



上がりカマチ(木製下地)



上がりカマチ(SUS製)

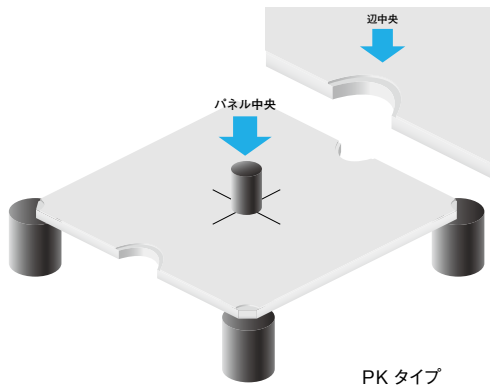
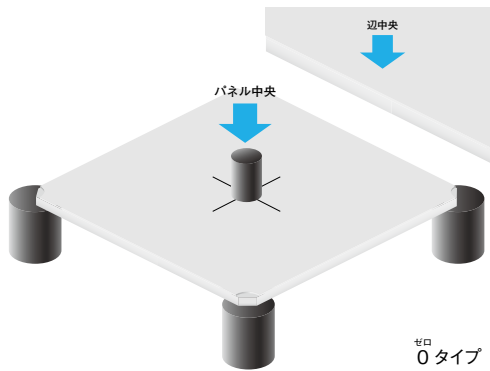


スロープ(木製下地、鋼製下地)



スロープ(木製下地、鋼製下地)

集中荷重試験

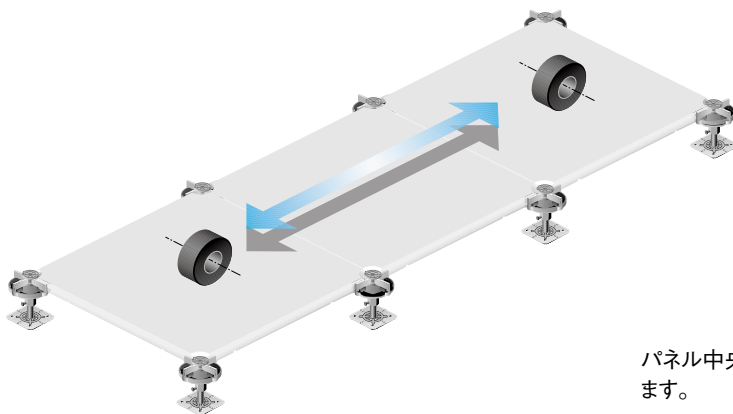


パネルをφ80鋼製支持台で4点支持し、φ50荷重子を用いて荷重試験機にて荷重をかけます。

集中荷重性能	ゼロ0タイプ / PKタイプ	
	パネル中央	辺中央
最大荷重(N)	9000以上	4500以上
3000N時たわみ(mm)	2.0以下	3.0以下

ニチアス規格値

ローリングロード試験

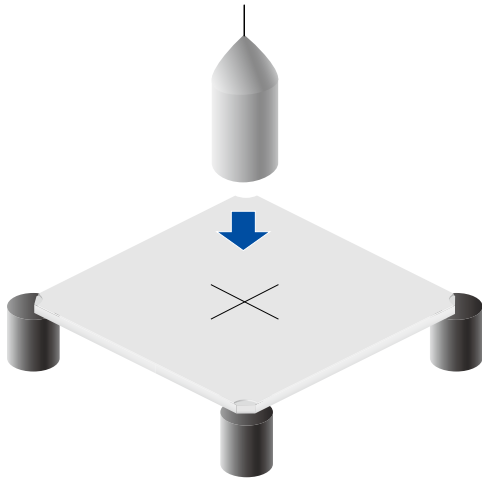


パネル中央を、ウレタン被覆キャスターに実用荷重を負荷させて走らせます。

荷重(N)	走行回数(回)	損傷
1000	10000	なし

ニチアス規格値

衝撃試験

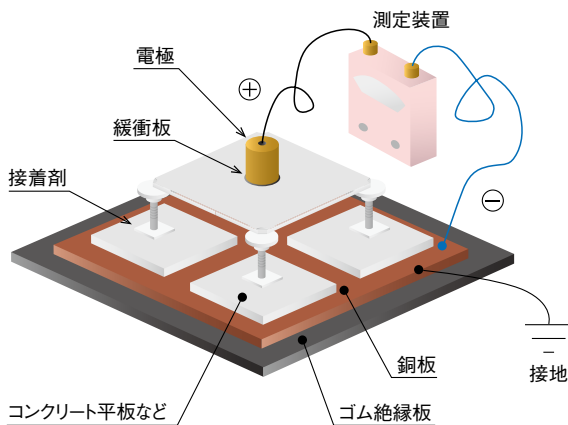


パネルをφ80支持脚で4点支持させ、30kg砂袋(底面φ220)を所定の高さからパネルの中央に自由落下させた後、中央集中荷重試験を行います。

落下高さ(cm)	損傷	最大荷重(N)
50	なし	9000以上

ニチアス規格値

漏洩抵抗試験



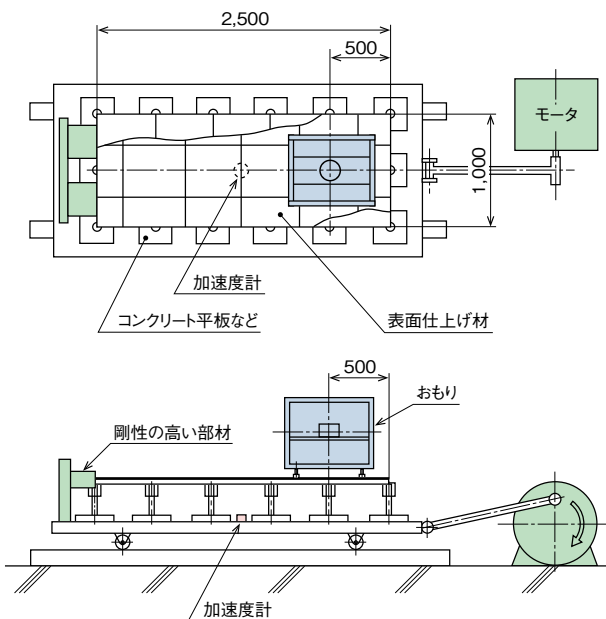
漏洩抵抗値を測定します。(測定条件 電圧:500V印加、温度:20±5℃、湿度:30±10% RH)

パネル表面	漏洩抵抗値(Ω)
表面仕上げ材なし	1×10 <sup>9</sup> 以上

※実測値であり保証値ではありません。

測定機関:ニチアス

耐震性能試験



試験体を試験機にセットして所定のおもり\*を乗せて2Hz-3波最大1.0Gの正弦波加振をする。

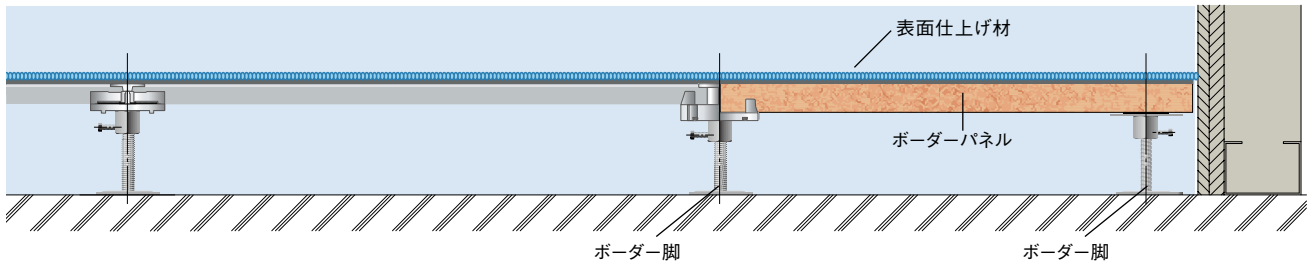
試験体の状況を観察し部材の変形を確認する。試験体の一方向は固定壁付きとする。

※積載荷重により支持脚の仕様が異なります。

おもりの質量	結果
200kg・350kg	異常なし

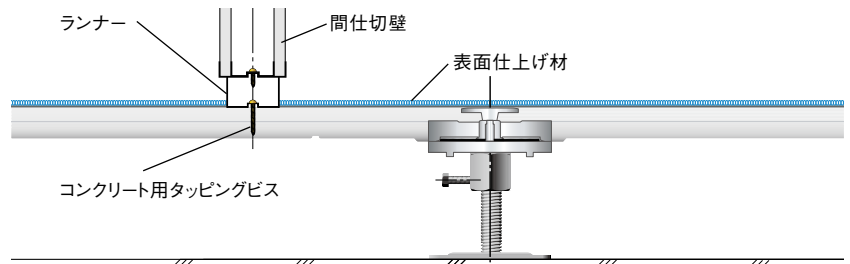
測定機関:床材料構法研究会

断面図



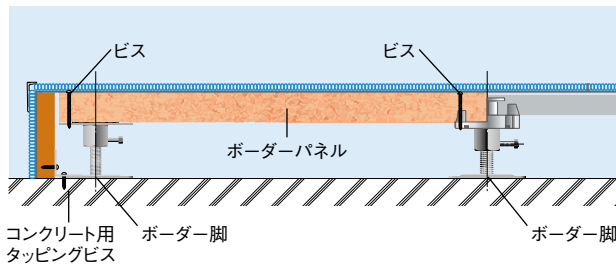
間仕切壁 (別途工事)

「ニチアス パットフロア」に下穴をあけてネジ止めすることができます。

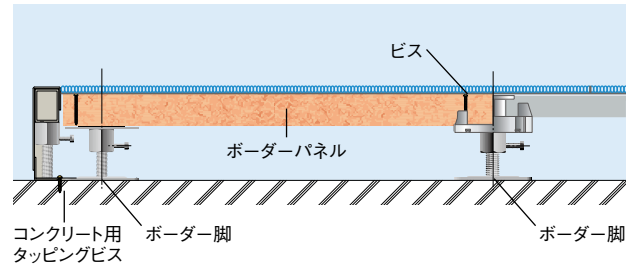


※耐火間仕切壁は「ニチアス パットフロア」の上に施工しないでください。

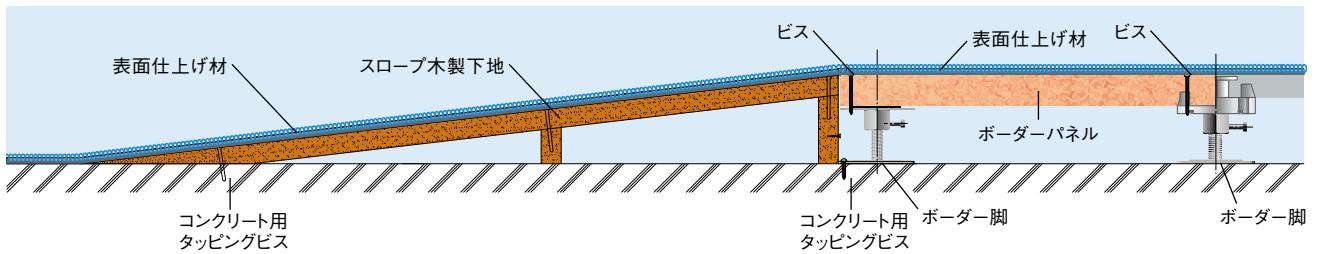
上がりカマチ (木製下地)



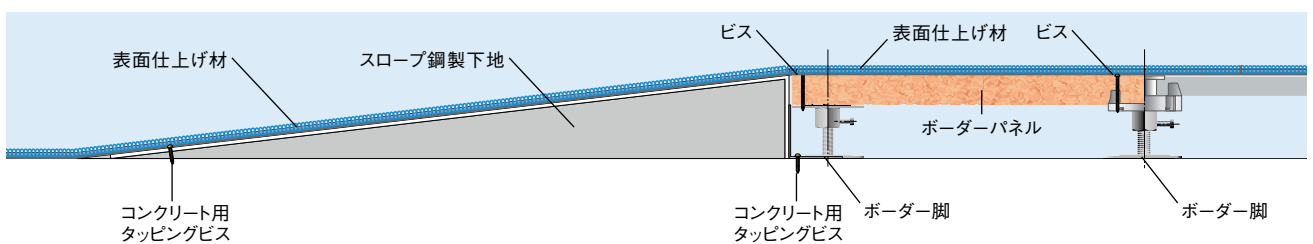
上がりカマチ (SUS製)



スロープ (木製下地)



スロープ (鋼製下地)





ボーダー部の施工

パーティクルボードをカットして設置します。

\*支持脚にボーダーロックセットを取り付けます。

\*壁との取り合いは2～4mm程度隙間をあけて施工します。

\*入り口まわり、通路部などの人や台車が通行する部分は、  
パネル4隅をビスまたはロック部材にて固定します。

ボーダーロックセット



ボーダーロックセット 1/2



ボーダーロックセット 3/4



ボーダーロックセット 1/4

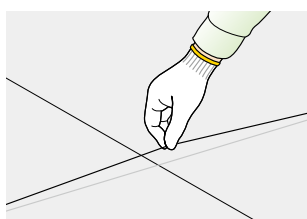
施工例1



出隅、入隅のボーダーロックセット納まり



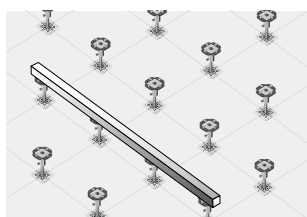
施工手順



**STEP1**  
建築基準墨および施工図に基づいて、床面に割付墨を打ちます。



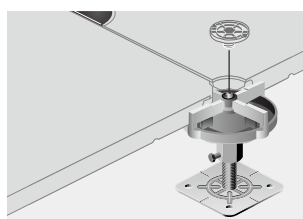
**STEP2**  
レベラーなどにより基準となる支持脚の高さを調整します。



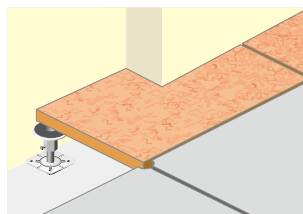
**STEP3**  
長棒などを用いて支持脚の高さを基準の位置に調整し、ストップボルトを固定します。



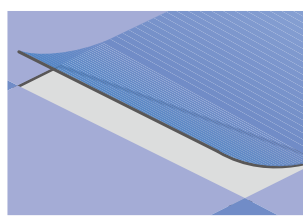
**STEP4**  
ロックベースを取り付けた支持脚のベースプレート底面に接着剤を塗布し、割付墨に基づいて支持脚を設置します。



**STEP5**  
レイアウトに応じて支持脚の接合後すぐにOタイプまたはPKタイプを敷き込み、ロックプレートで締めつけます。



**STEP6**  
ボーダーなど取合部を施工します。

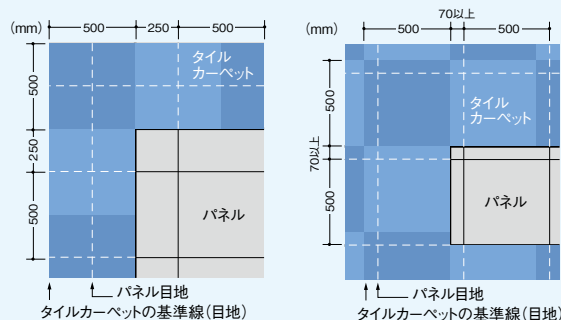


**STEP7**  
タイルカーペットなどを施工します。(表面仕上げ材はパネル施工後、速やかに敷いてください。)

●当社推奨のカーペット糊(ピールアップ型接着剤)の塗布量は30～60g/m<sup>2</sup>になります。詳細は各メーカーの施工仕様に従ってください。また、タイルカーペット施工時のカーペット糊の塗り過ぎは、粘性が強すぎてタイルカーペットを傷つける場合がありますのでご注意ください。

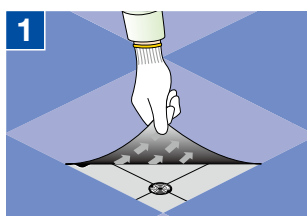
※コンクリートスラブに下地塗料を塗装する場合は、下地塗料施工時のスラブ状態・支持脚接着までの養生期間などを下地塗料メーカーにご確認ください。

【タイルカーペットの割り付け例】



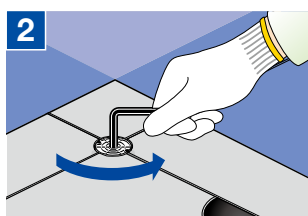
※置敷きタイルなどはパネルの目地などが浮き出る場合がありますので、ご注意ください。

メンテナンス

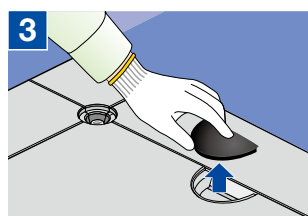


1 表面仕上げ材(タイルカーペットなど)の角を指先でつまみ上げて、開閉したいパネルにかかる4枚の表面仕上げ材を取り除いてください。

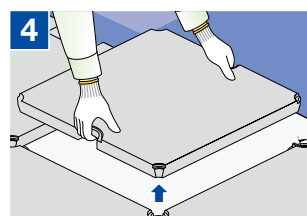
※表面仕上げ材には方向があるので戻す時のために位置、方向を記録しておいてください。



2 六角レンチでロックプレートを取り外してください。



3 フサギ板を取り外してください。



4 両手でパネルを持ってまっすぐ上に持ち上げてください。

※戻す時のためにパネルの位置、方向を記録しておいてください。  
※パネルを持つ際は手袋を着用してください。

注意事項

- ⚠ **警告**
  - ❌ 重量物の落下や、過度の衝撃を加えないでください。パネルが破損し、脱落する危険があります。
  - ❌ パネルや支持脚を勝手に加工しないでください。強度が低下し、パネルが破壊したり、脱落する恐れがあります。
  - ⚠ 機器の搬入や移動、設置を行う場合は所定の養生を施し、静かに実施してください。過度の荷重や衝撃によりパネルが破損する恐れがあります。
  - ⚠ 機器を設置する際は、設置面積がφ50mmより大きく、且つパネル1枚にかかる荷重が許容集中荷重以上となるようにしてください。
  - ⚠ 配線等でパネルを外したまま放置しないでください。第三者が立ち入り思わぬ怪我をする恐れがあります。区画表示をするなどして安全処置をしてください。
- ⚠ **注意**
  - ⚠ 塞ぎ板が無い状態でフロアパネルを使用しないでください。穴に足が入るなど思わぬ怪我をする恐れがあります。
  - ⚠ パネルや支持脚を取扱う際は、切創防止のため、手袋を着用してください。
  - ⚠ パネルの敷設の際は、パネル間に手をはさまれないよう十分注意してください。
  - ⚠ パネルの着脱時に使用するパネルリフターで保持したまま、持ち運ばないでください。落下して思わぬ怪我をする可能性があります。
  - ⚠ 弊社に確認した上でパネルの加工を行う場合やパーティクルボードを切断の際は、保護手袋、防じんマスクを着用してください。

一般注意事項

設計上の注意

- フリーアクセスフロア以外の用途に使用しないでください。
- 「パネルの欠け、削れ」「経年によるシミ、汚れ」「つまずき、挫きのおそれ」があるので素地のまま使用しないでください。
- パネル目地が目透かしの場合は、長尺シートで仕上げると目地が浮き出る恐れがあります。長尺シートは使用しないでください。
- パネル目地が目透かしの場合は、軟質置敷き塩ビタイルで仕上げると目地が浮き出る恐れがあります。軟質置敷き塩ビタイルは使用しないでください。
- パネル施工後、長期間部屋を使用しない場合は、パネルが結露する場合があります。定期的に室内や床下の換気を行ってください。
- パーティクルボード施工後、長期間部屋を使用しない場合は結露してボードが膨れたり、黴が発生する場合がありますので定期的に室内や床下の換気を行ってください。
- 表面が乾燥収縮する可能性があるため、表面仕上げ材を施工しない状態で、6ヶ月以上放置しないでください。
- 重量用移動棚や輪転機のような繰り返し荷重や振動がかかる機器は、スラブ上の架台などに設置し、パネルと縁を切ってください。
- パーティションや扉をパネル上に設置した場合、パネルがたわみ、支障が生じる恐れがありますので、補強の必要性等について弊社にご相談ください。

施工時の注意

- カタログに記載の内容に従って施工してください。
- 配線時のパネル着脱を考慮し、カーベットの厚さは70mm以上ずらし貼りしてください。
- タイルカーベットの敷設した際は、カーベット裏面ゴムの可塑剤とパネルに含まれるアルカリ水が反応して異臭が発生する場合があります。カーベットの施工後は十分な換気を行ってください。
- タイルカーベット施工の際のカーベット糊の量は30～60g/m<sup>2</sup>を目安にしてください。糊を塗りすぎるとパネルの目地に入り込み、開閉が困難になったりパネルの擦れ音が発生する可能性があります。また、着脱の際にカーベットの傷める場合があります。
- パネルや支持脚、副資材を保管する場合は、水が掛からない場所に置いてください。水に触れると錆が発生する場合があります。
- 重量物や、工事などの台車で運搬する場合は、過大な局所荷重がかからないよう、通過する経路に下表に示す基準で木質板などによる養生を行ってください。

重量物	養生方法
300kg以下	2mm程度のベニヤ板かビニールシート養生
300kgを超え500kg以下	9mm木質材養生
500kgを超え1000kg以下	21mm木質材養生

- 傷が付く場合があるので、パネル同士を引き摺らないでください。
- 通路などの動線部や出入り口のボーダーパネルはビス固定してください。
- パネルがたたく恐れがありますので、支持脚のストップボルトの固定は確実に行ってください。
- 壁際のオーダーパネルは壁と競り合わないよう、隙間を2mm程度確保してください。  
廊下などの通路部では、ビス留めやバックアップ材の設置など「ずれ防止措置」をしてください。

重量物の機器搬入および設置上の注意

- 重量物を移動、運搬する場合は、過大な局所荷重がかからない様に、通過する経路に上表に示す木質板などによる養生を行ってください。
- 転倒する可能性のある機器は、スラブまたは耐力のある壁に固定して、パネルや支持脚への固定はしないでください。
- 1枚のパネルに荷重が集中する場合、パネル上に鉄板やフレームを敷いて荷重を分散させてください。

配線等パネル開閉時の注意

- パネルの取り外しを行った際には、ロック部材、塞ぎ板を元に戻してください。
- パネルの取り外しを行った際には、がたつき防止のためパネルを元の方向に戻してください。
- レイアウト変更、配線工事による加工やフロア部材の交換が必要な場合は、弊社営業担当者までご連絡ください。

清掃時の注意

- 日常作業としてタイルカーベットの、業務用大型掃除機または家庭用掃除機にて清掃してください。
- 定期作業としてパウダークリーニングを行ってください。
- パネルに水や薬品がかからないようにしてください。
- パウダークリーニングや染み抜きの方法は、清掃業者または表面材仕上げ材メーカーにお問い合わせください。

廃棄上の注意

- パネル、支持脚、副資材は一般産業廃棄物として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、適切な処理を行ってください。



お問合せは最寄りの営業拠点までお願いします。

**建材事業本部**

札幌支店	TEL (011) 261-3506
仙台支店	TEL (022) 374-7141
東京営業部	TEL (03) 4413-1163
富山営業所	TEL (076) 424-2688
静岡支店	TEL (054) 283-7322
名古屋営業部	TEL (052) 611-9217
大阪営業部	TEL (06) 6252-1301
岡山支店	TEL (086) 424-8011
広島支店	TEL (082) 506-2202
九州営業部	TEL (092) 739-3636

**本製品以外を扱う支店・営業所**

苫小牧営業所	TEL (0144) 38-7550
福島営業所	TEL (0246) 38-6173
日立営業所	TEL (0294) 22-4321
鹿島支店	TEL (0479) 46-1313
宇都宮営業所	TEL (028) 610-2820
前橋営業所	TEL (027) 224-3809
千葉支店	TEL (0436) 21-6341
横浜支店	TEL (045) 508-2531
神奈川支店	TEL (046) 262-5333
新潟営業所	TEL (025) 247-7710
若狭支店	TEL (0770) 24-2474
山梨営業所	TEL (055) 260-6780
浜松支店	TEL (053) 450-2200
豊田支店	TEL (0565) 28-0519
四日市支店	TEL (059) 347-6230
京滋支店	TEL (0749) 26-0618
堺営業所	TEL (072) 225-5801
神戸営業所	TEL (078) 381-6001
姫路支店	TEL (079) 289-3241
宇部営業所	TEL (0836) 21-0111
徳山支店	TEL (0834) 31-4411
四国営業所	TEL (0897) 34-6111
北九州営業所	TEL (093) 621-8820
長崎支店	TEL (095) 801-8722
大分営業所	TEL (097) 551-0237
熊本支店	TEL (096) 292-4035

**本 社** 〒104-8555 東京都中央区八丁堀1-6-1

・基幹産業事業本部	TEL (03) 4413-1121
・工事業部	TEL (03) 4413-1124
・基幹製品事業部	TEL (03) 4413-1123
・プラント営業部	TEL (03) 4413-1126
・工業製品事業本部	TEL (03) 4413-1131
・海外営業部	TEL (03) 4413-1132
・高機能製品事業本部	TEL (03) 4413-1141
・自動車部品事業本部	TEL (03) 4413-1151
・海外営業部	TEL (03) 4413-1155
・建材事業本部	TEL (03) 4413-1161

**研 究 所**

・鶴見 ・浜松

**工 場**

・鶴見 ・王寺 ・羽島 ・袋井 ・結城

**海外拠点**

・インドネシア ・マレーシア ・シンガポール ・ベトナム  
 ・タイ ・中国 ・インド ・ドイツ ・チェコ ・メキシコ

**⚠️ カタログについてのご注意**

本カタログを参照する場合、以下の点に注意してください。

- このカタログに記載の製品は、カタログに記載の用途をはじめとする一般的な用途での使用を意図しています。きわめて高度な品質・信頼性が要求され、本製品の不具合が直接人命に関わるような用途で使用される場合は、事前に必ず当社にご相談のうえ、お客様の責任で必要な対策を実施してください。
- 記載の物性値は、実際の使用環境や使用状況などにより変化しますので、あくまで目安としてご覧ください。
- 記載の内容は、製品単体での特性を表したものです。実際のご使用に際しては、必ず実条件での使用確認を行ったうえでご使用ください。
- 記載の内容は予告なく変更あるいは製造を中止することがあります。カタログの最新版を入手いただき内容をご確認ください。本カタログの発行時期は本頁に記載しております。当社ホームページのカタログダウンロードページにて最新版カタログの発行時期をご確認ください。なお、最新版ではないカタログの記載内容については保証致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- 記載の規格、認定、法律などの条文は最新のものに準拠していない場合があります。
- 記載の情報について、複写、模倣、流用、転載などの著作権法によって保護されている権利を侵害する行為は固くお断りします。
- 記載の製品を使用したことにより、第三者の工業所有権に関わる問題が発生した場合、専ら当該製品

- に原因を有するもの以外につきましては、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 記載されている製品のうち、外国為替及び外国貿易管理法にて規制される貨物の輸出、技術の提供に際しては、同法に基づく輸出許可が必要です。
- 当社は、当社製品に係る以下の損害については、一切の責任を負いませんのでご注意ください。
  - ・天災地変・災害および当社の責に帰すべからざる事故により生じた損害
  - ・当社以外の第三者による当社製品の改造・修理・その他の行為により生じた損害
  - ・お客様およびご使用者様の故意・過失ならびに当社製品の誤使用・異常条件下での使用により生じた損害
  - ・当該製品の使用条件・使用環境・使用期間等の諸条件を考慮した定期的な点検と適切な保守・メンテナンス・交換を怠ったことにより生じた損害
  - ・当社製品の使用または使用不能に起因して生じた間接損害(営業上の損害、逸失利益および機会損失などを含みます)
  - ・当社製品の出荷時の技術水準では予見不可能な事態により生じた損害
  - ・その他当社の責に帰すべからざる事由により生じた損害